

2022年2月改訂

株 式 取 扱 規 程

藤森工業株式会社

株式取扱規程

第 1 章 総 則

(目 的)

第 1 条 当社の株主権行使の手続その他株式に関する取扱いおよび手数料については、株式会社証券保管振替機構（以下「機構」という）および株主が振替口座を開設している証券会社等の口座管理機関（以下「証券会社等」という）が定めるところによるほか、定款第 9 条に基づきこの規則の定めるところによる。

(株主名簿管理人)

第 2 条 当社の株主名簿管理人および同事務取扱場所は次のとおりとする。

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目 4 番 1 号

三井住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目 4 番 1 号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

第 2 章 株主名簿への記録等

(株主名簿への記録)

第 3 条 株主名簿記載事項の変更は、総株主通知等機構からの通知（社債、株式等の振替に関する法律（以下「振替法」という）第 154 条第 3 項に規定された通知（以下「個別株主通知」という）を除く）により行うものとする。

2. 前項のほか、新株式発行その他法令に定める場合は、機構からの通知によらず株主名簿記載事項の記録または変更を行うものとする。

3. 株主名簿は、機構が指定する文字・記号により記録するものとする。

(株主名簿記載事項に係る届出)

第 4 条 株主は、その氏名または名称および住所を機構の定めるところにより、証券会社等および機構を通じて届け出るものとする。変更があった場合も同様とする。

(法人の代表者)

第 5 条 株主が法人であるときは、その代表者 1 名を機構の定めるところにより、証券

会社等および機構を通じて届け出るものとする。変更があった場合も同様とする。

(共有株主の代表者)

第 6 条 株式を共有する株主は、その代表者 1 名を定め、共有代表者の氏名または名称および住所を機構の定めるところにより、証券会社等および機構を通じて届け出るものとする。変更があった場合も同様とする。

(法定代理人)

第 7 条 株主の親権者および後見人等の法定代理人は、その氏名または名称および住所を機構の定めるところにより、証券会社等および機構を通じて届け出るものとする。変更および解除があった場合も同様とする。

(外国居住株主等の通知を受ける場所の届出)

第 8 条 外国に居住する株主および登録株式質権者またはその法定代理人は、日本国内に常任代理人を選任するか、または日本国内において通知を受けるべき場所を定めなければならない。

2. 前項の常任代理人の氏名もしくは名称および住所または通知を受けるべき場所は、機構の定めるところにより、証券会社等および機構を通じて届け出るものとする。変更および解除があった場合も同様とする。

(機構経由の確認方法)

第 9 条 当会社に対する株主からの届出が証券会社等および機構を通じて提出された場合は、株主本人からの届出とみなすものとする。

第 3 章 株 主 確 認

(株主確認)

第 10 条 株主（個別株主通知を行った株主を含む）が請求その他株主権行使（以下「請求等」という）をする場合、当該請求等を本人が行ったことを証するもの（以下「証明資料等」という）を添付し、または提供するものとする。ただし、当会社において本人からの請求等であることが確認できる場合はこの限りでない。

2. 当会社に対する株主からの請求等が、証券会社等および機構を通じてなされた場合は、株主本人からの請求等とみなし、証明資料等は要しない。

3. 代理人により請求等をする場合は、前 2 項の手続のほか、株主が署名または記名押印した委任状を添付するものとする。委任状には、受任者の氏名または名称および住所の記載を要

するものとする。

4. 代理人についても第1項および第2項を準用する。

第 4 章 株主権行使の手続き

(少数株主権等の行使手続)

第 11 条 振替法第 147 条第 4 項に規定された少数株主権等を当会社に対して直接行使するときは、個別株主通知の申出をしたうえ、署名または記名押印した書面により行うものとする。

(株主提案議案の株主総会参考書類記載)

第 12 条 株主総会の議案が株主の提出によるものである場合、会社法施行規則第 93 条第 1 項により当会社が定める分量は以下の通りとする。

① 提案の理由

議案ごとに 400 字

② 提案する議案が役員等の選任に関する議案の場合における株主総会参考書類に記載すべき事項

候補者ごとに 400 字

(10 を超える数に相当することとなる数の議案の決定方法)

第 13 条 株主が 10 を超える数の議案の要領を株主に通知することを請求する場合、会社法第 305 条第 4 項に定める 10 を超える数に相当することとなる数の議案の取扱いは、当該請求をした株主と協議のうえ、決定する。ただし、当該株主との協議によっても定まらない場合、又は、当該株主との協議が実施できない特別な事情が存する場合は、次の各号の定めるところによる。なお、当該請求をした株主が当該請求と併せて提出しようとする 2 以上の議案の全部又は一部について議案相互間の優先順位を定めている場合には、その定めに従うものとする。

(1) 株主の請求内容が横書きで記載されている場合 上から数えて定める。

(2) 株主の請求内容が縦書きで記載されている場合 右から数えて定める。

(3) 株主の請求において議案が秩序だてて記載されていない場合その他前 2 号のいずれかに当たるとは認められない場合 代表取締役社長が定める。

(単元未満株式の買取請求の方法)

第 14 条 単元未満株式の買取りを請求するときは、機構の定めるところにより、証券会社等および機構を通じて行うものとする。

(買取価格の決定)

第 15 条 買取請求の買取単価は、買取請求が第 2 条に定める株主名簿管理人事務取扱場所に到達した日の東京証券取引所の開設する市場における最終価格とする。ただし、その日に売買取引がないときまたはその日が同取引所の休業日に当たるときは、その後最初になされた売買取引の成立価格とする。

2. 前項による買取単価に買取請求株式数を乗じた額をもって買取価格とする。

(買取代金の支払)

第 16 条 当社は、前条により算出された買取価格から第 19 条に規定する手数料を差し引いた額を、当社が別途定める場合を除き、機構の定めるところにより買取単価が決定した日の翌日から起算して 4 営業日目に支払うものとする。ただし、買取価格が剰余金の配当または株式の分割等の権利付価格であるときは、基準日までに買取代金を支払うものとする。

2. 買取請求者は、その指定する銀行預金口座への振込またはゆうちょ銀行現金払による買取代金の支払を請求することができる。

(買取株式の移転)

第 17 条 買取請求を受けた単元未満株式は、前条による買取代金の支払または支払手続を完了した日に当社の振替口座に振替えるものとする。

第 5 章 特別口座の特例

(特別口座の特例)

第 18 条 特別口座の開設を受けた株主の本人確認その他特別口座に係る取扱いについては、機構の定めるところによるほか、特別口座の口座管理機関が定めるところによるものとする。

第 6 章 手数料

(手数料)

第 19 条 第 15 条の単元未満株式買取請求に係る手数料は、次のとおりとする。

株式の売買の委託に係る手数料相当額として、下記に定める金額を買取った単元未満株式の数で按分した額

(算式) 第 16 条に定める一株当たりの買取価格に 1 単元の株式数を乗じた合計金額のうち

100万円以下の金額につき	1.150%
100万円を超え500万円以下の金額につき	0.900%
500万円を超え1,000万円以下の金額につき	0.700%
1,000万円を超え3,000万円以下の金額につき	0.575%
3,000万円を超え5,000万円以下の金額につき	0.375%

(円未満の端数を生じた場合には切り捨てる)

ただし、1単元当たりの算定金額が2,500円に満たない場合には、2,500円とする

付 則

1. 本規程の改廃は取締役会の決議による。

1976年10月	1日	制定施行	
1992年	7月	1日	改訂施行
1994年	6月29日	改訂施行	
2000年	4月	1日	改訂施行
2001年10月	1日	改訂施行	
2002年12月24日	改訂施行		
2006年	9月21日	改訂施行	
2007年	6月27日	改訂施行	
2008年10月20日	改訂施行		
2012年	4月	1日	改訂施行
2022年	2月	9日	改訂施行